

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 22 年 1 月 6 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	燃料転換によるボイラー設備更新事業
排出削減事業者名	フクシマフーズ株式会社
排出削減共同実施事業者名	丸紅株式会社
事業実施場所	フクシマフーズ株式会社 (福島県伊達郡桑折町大字成田字二本木 10-1)
事業の概要	7 台の A 重油ボイラー(炉筒煙管ボイラー3 台、貫流ボイラー4 台)を高効率のボイラー12 台に更新することでエネルギー効率を改善し、化石燃料の消費量を削減する。また、A 重油から二酸化炭素排出係数の低い天然ガスに燃料転換する事により、CO ₂ 排出の削減を行う。
排出削減量の計画	(2009 年度 : 1,814、2010 年度 : 5,798、2011 年度 : 6,181、2012 年度 : 6,589)tCO ₂ /年 事業実施期間合計 20,382tCO ₂
国内クレジット 認証期間	開始日 2009 年 12 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラの更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所：フクシマフーズ株式会社（福島県伊達郡桑折町大字成田字二本木 10-1）
追加性を有すること	1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO ₂ 排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。 2) 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、現地において機器のメンテナンス記録、法定検査記録、修理履歴、運転記録、関係者への質問などで確認している。 3) 排出削減事業の投資回収年数は 4.9 年である。投資回収年数計算の根拠データについて、担当者およびその他事業者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。 4) フクシマフーズ株式会社は、ISO14001 認証を取得しており、地球温暖化防止（CO ₂ 削減）等を中心とする自主的な環境パフォーマンス改善に取り組んでいる。国内クレジット制度の活用により、より大きな効果が得られる見込みであることが事業実施の一因となっている。
自主行動計画に参加していない者により行われること	排出削減事業者への質問（所属業界団体に関する質問を含む）、関係者への質問等により、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認している。
排出削減方法論に基づいて実施されること	1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。 適用条件 1：既存ボイラー並びに新設ボイラーの機器仕様書(カタログ)を参照し、高効率のボイラー設備に更新され

	<p>たことを確認している。</p> <p>適用条件 2：既存ボイラーの過去の点検記録、メンテナンス記録を確認し、更新を行わなくても既存設備のまま継続的に使用できることを確認している。特に 2 台の炉筒煙管ボイラーについては、法定耐用年数の 2 倍を超過しているが、現地視察、法定検査結果及び修理履歴の確認、運転状況の変化についての確認、事業者への質問(主として運転管理方法に関するもの)により、使用できる状態であったことを確認している。</p> <p>適用条件 3：事業実施前及び実施後のボイラー蒸気が、継続的に自家消費されている状況であること、今後も継続することを、現地視察及びヒアリングによって確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>
--	--

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。

以上